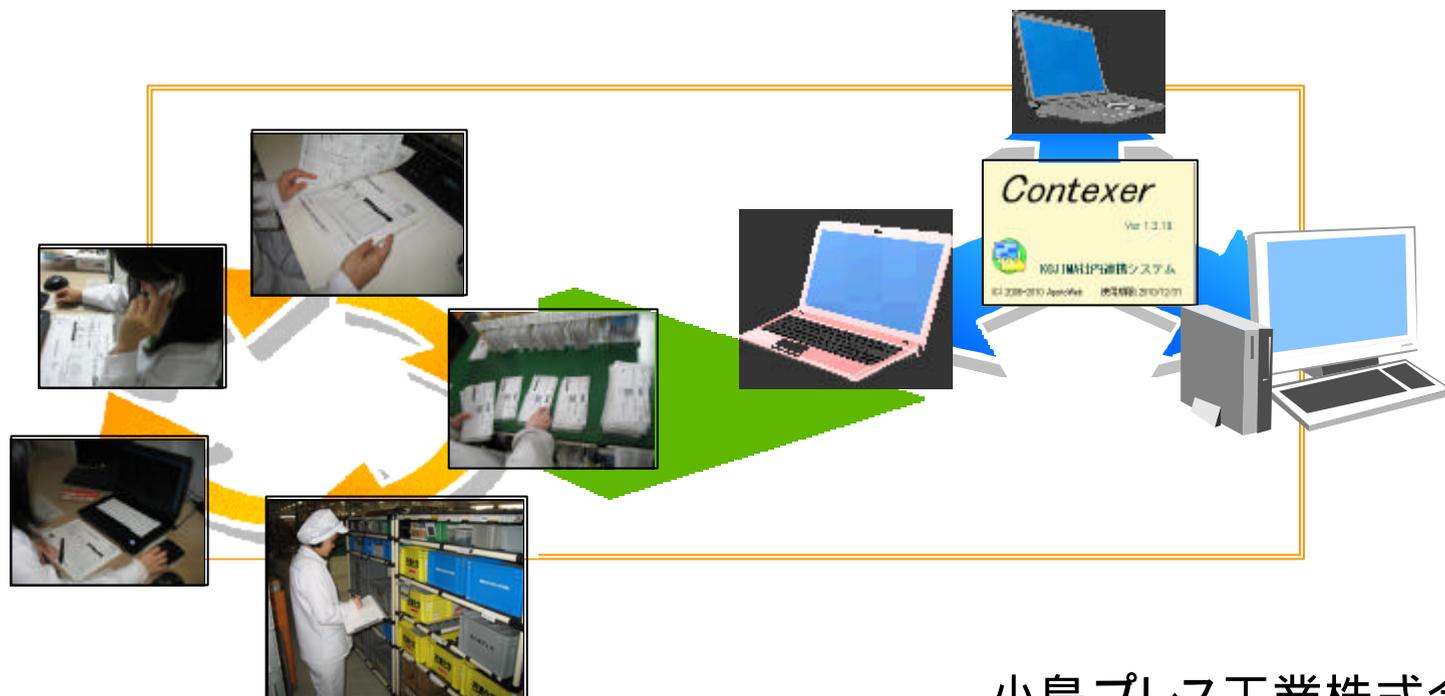
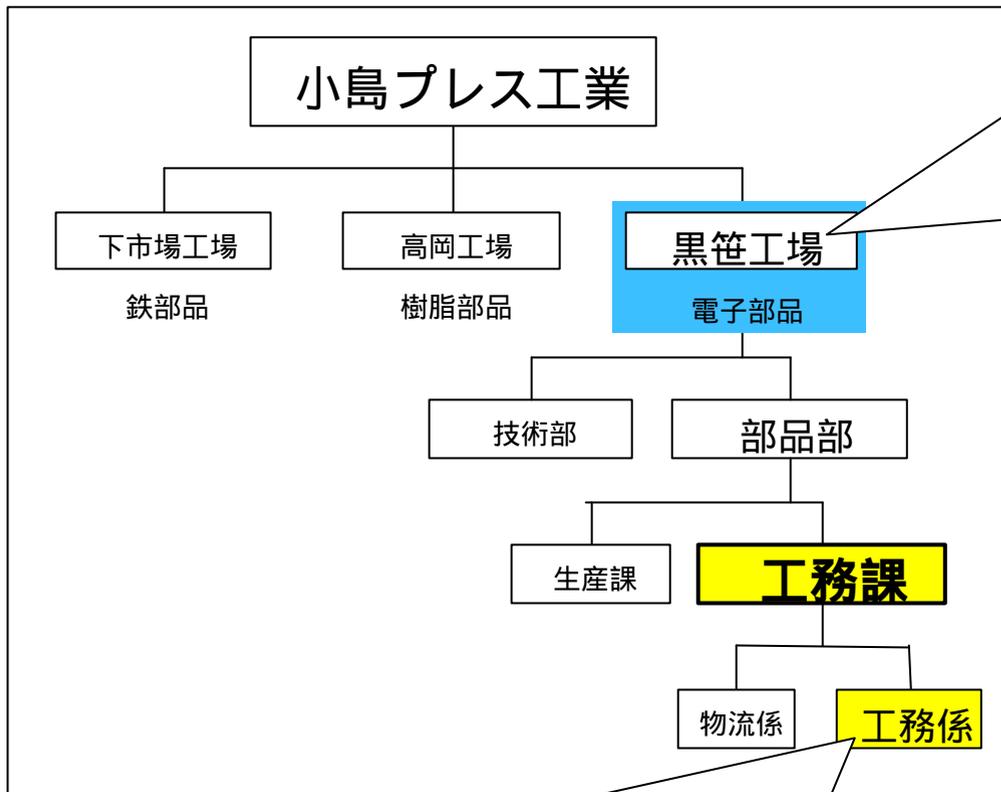


# ITツール活用による 自動車補給部品手配業務の改善事例



小島プレス工業株式会社  
黒笹部品部工務課 大島啓輔

# 職場紹介

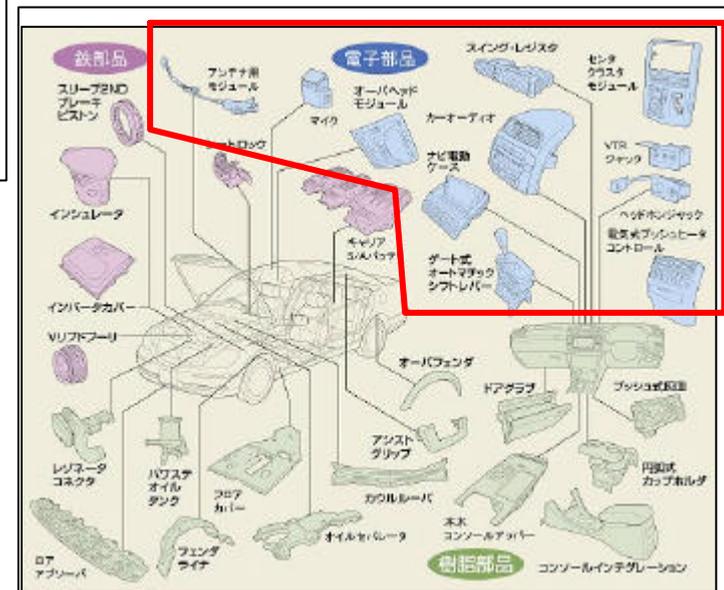


## 工場概観

## 工務課工務係の仕事

得意先受注を受け生産に必要な部品手配から出荷の管理までをおこなう職場。

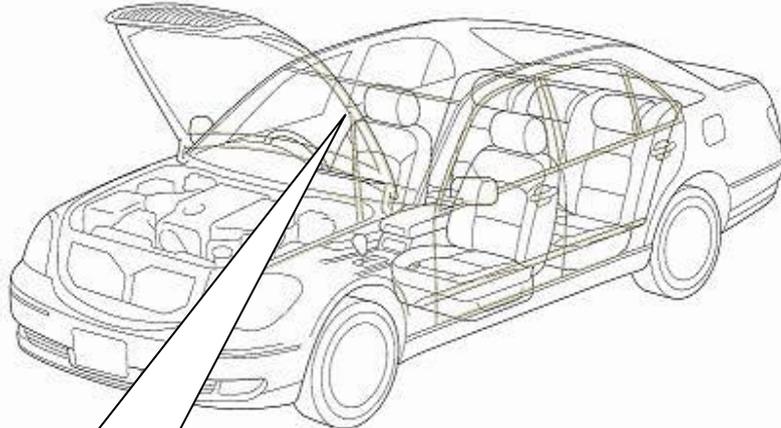
私は補給部品を担当しています。



# 自動車補給部品について

## < 補給部品とは >

故障した車に使用する < **交換用部品** > のこと



← 量産品 (市販車)

← 量産終了品 (旧型)  
(25年前 ~ 現在)

## < 小島プレスの子製品 >



オーバーヘッド  
コンソール



ヒーターコントロール



電動ナビ

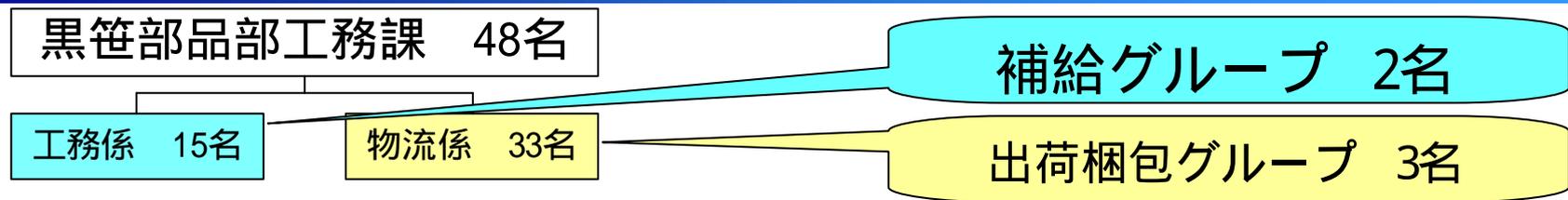


シフトレバー

## < 電子製品の特性 >

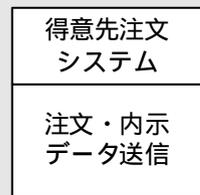
- ・ひとつの製品に対し、購入部品（以下、構成部品という）の数が多。

# 補給業務の体制と流れ



得意先

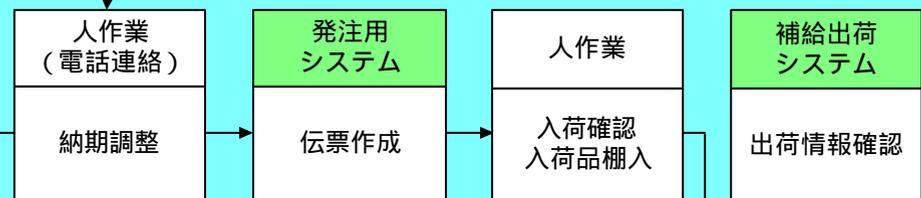
小島プレス



工務係（事務）



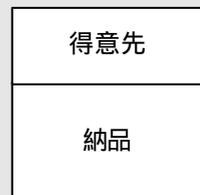
納期再調整



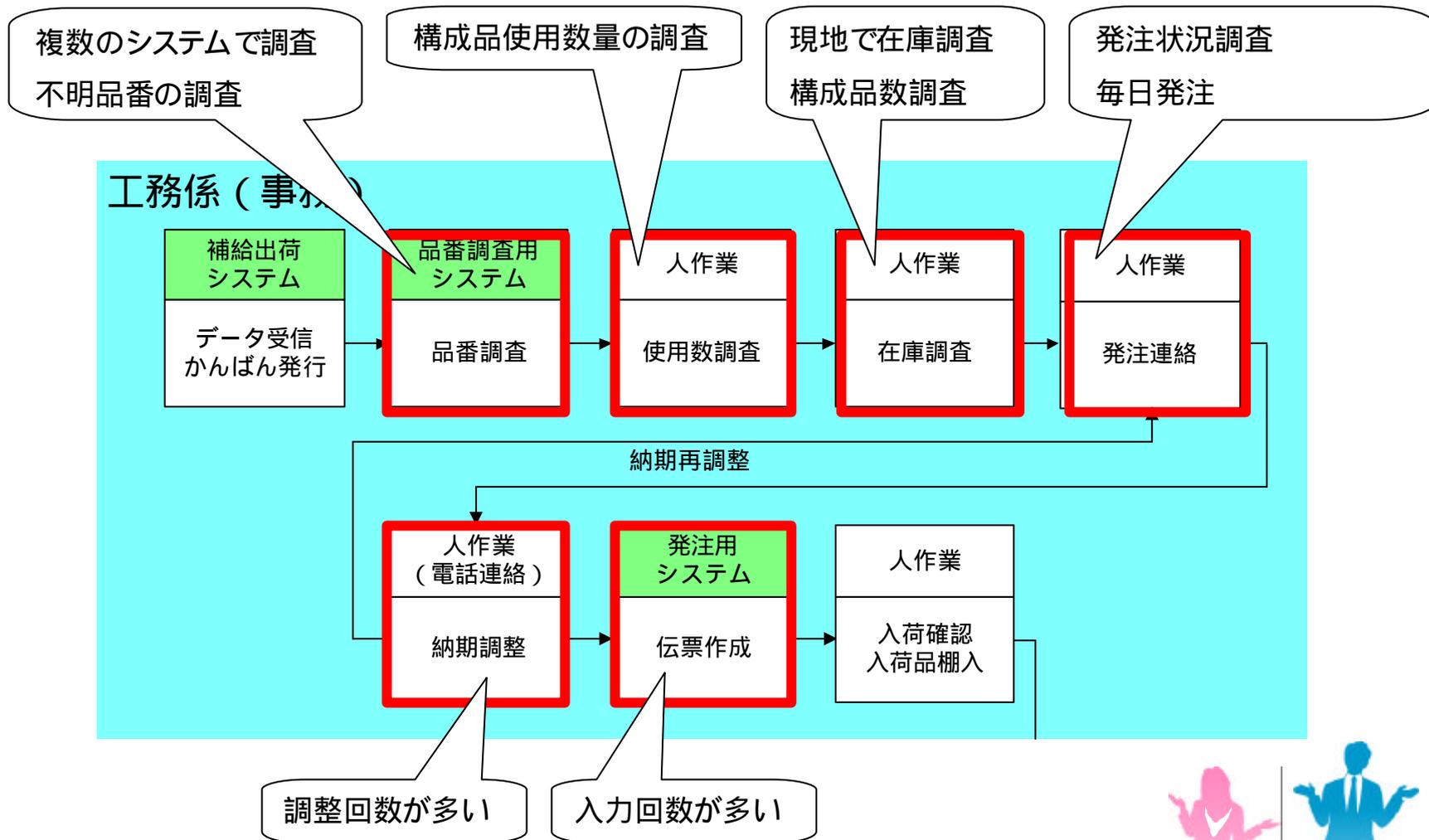
物流係（現場）



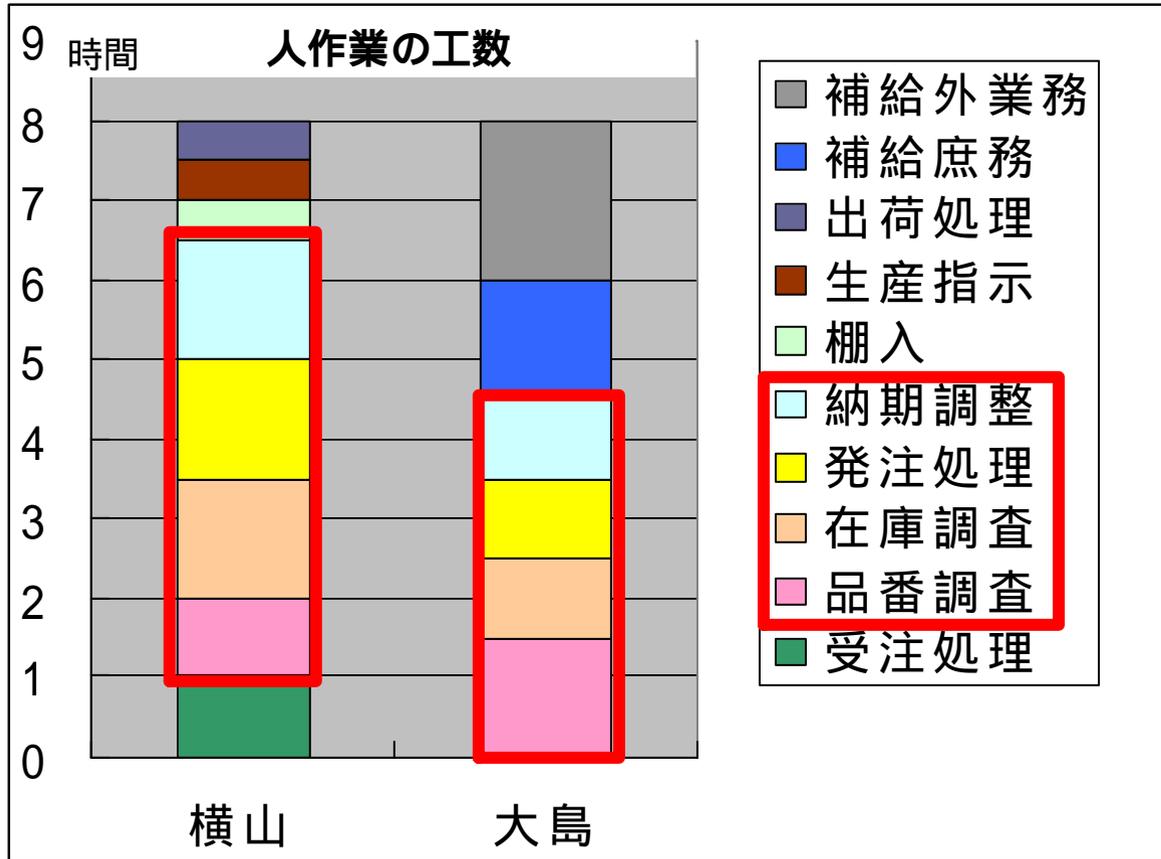
かんぱん配布



# 補給業務の問題点 (人作業が多い)



# 補給業務の問題点 (人作業が多い)



2名合計  
10.5時間

システム整備  
遅れにより  
人が対応

この作業をIT化する！

# 解決すべき内容とツール選定

項目	従来 (人作業/ツール)	方向性 (IT化)	必要事項
品番調査	複数のシステムでバラバラに調査していた	一元管理 補給用システム	品番マスタ 親子マスタ 仕入品番マスタ etc...
使用量調査 在庫調査	構成品使用数計算 現地で在庫調査	受注自動化 構成品使用数自動計算	内示データ 受注データ 在庫マスタ 自動計算処理 etc...
発注処理	発注点かんばん 在庫調査結果	理論在庫管理 かんばん廃止	仕入先カレンダー (発注予定日) 発注データ

必要事項を盛り込んだ、現場 (個人) レベルで運用ツールが必要

## ツール選定の要件

- ・データ連携 : 異なるデータのインプット 統一形式でアウトプット
- ・メンテナンス : 自分で追加、修正可能 (高度なプログラムではない事)
- ・コスト : 更新、メンテナンス費用不要

小島プレス情報システム課

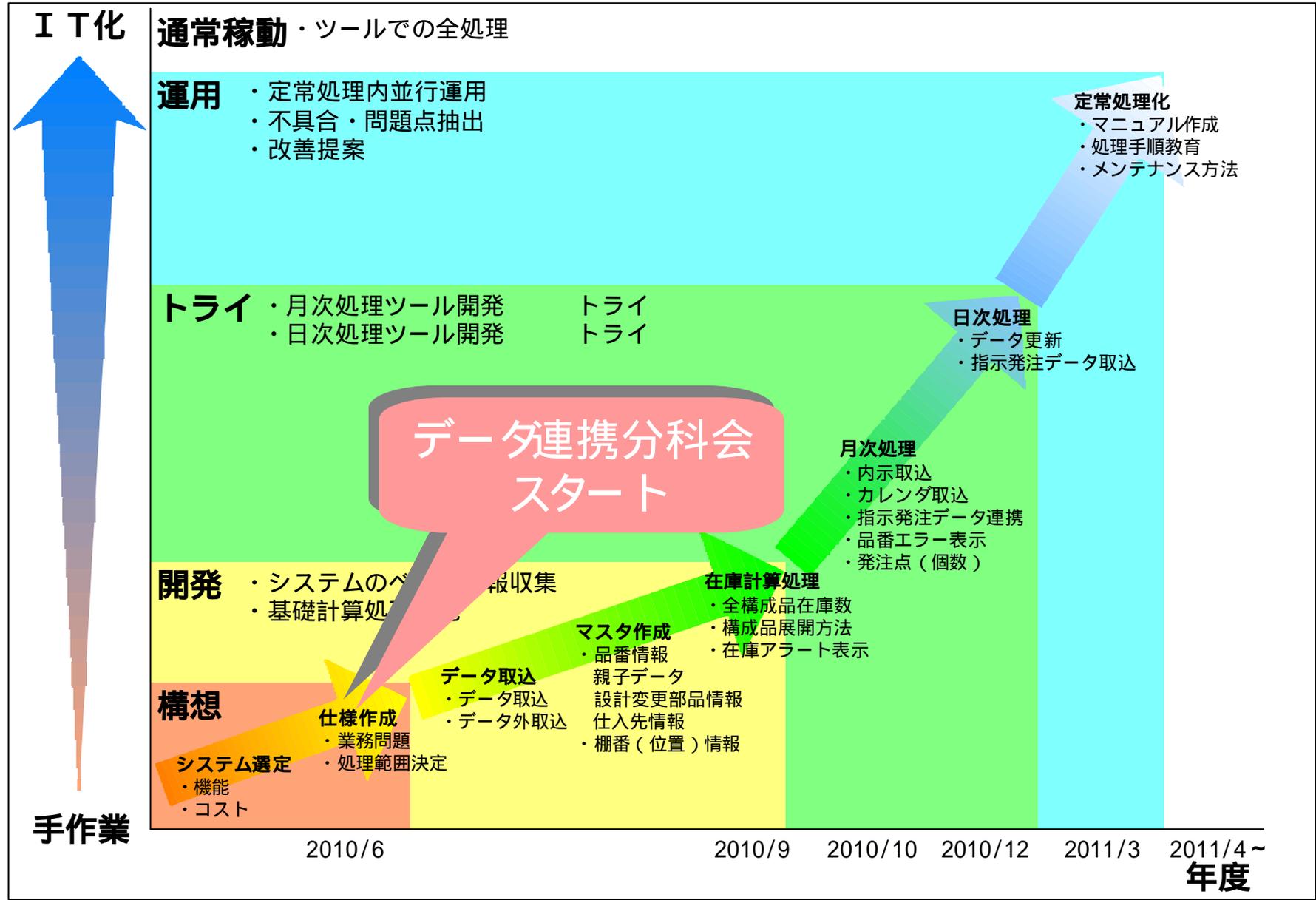
アプストウェブ(株)

# コンテキサーの活用

## コンテキサーとは？

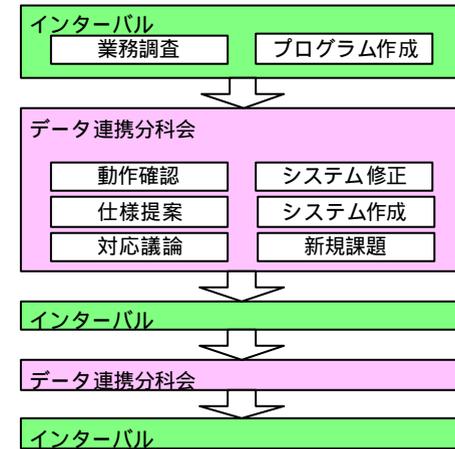
プログラムを使用せず、複数のデータに連結設定を行い、欲しい情報へ加工、表示できるツール。

# IT化に向けてのロードマップ



# 改善の進め方

データ連携分科会（月に1回開催）  
情報交換をしながら、  
会議の中で徐々にシステムを作成

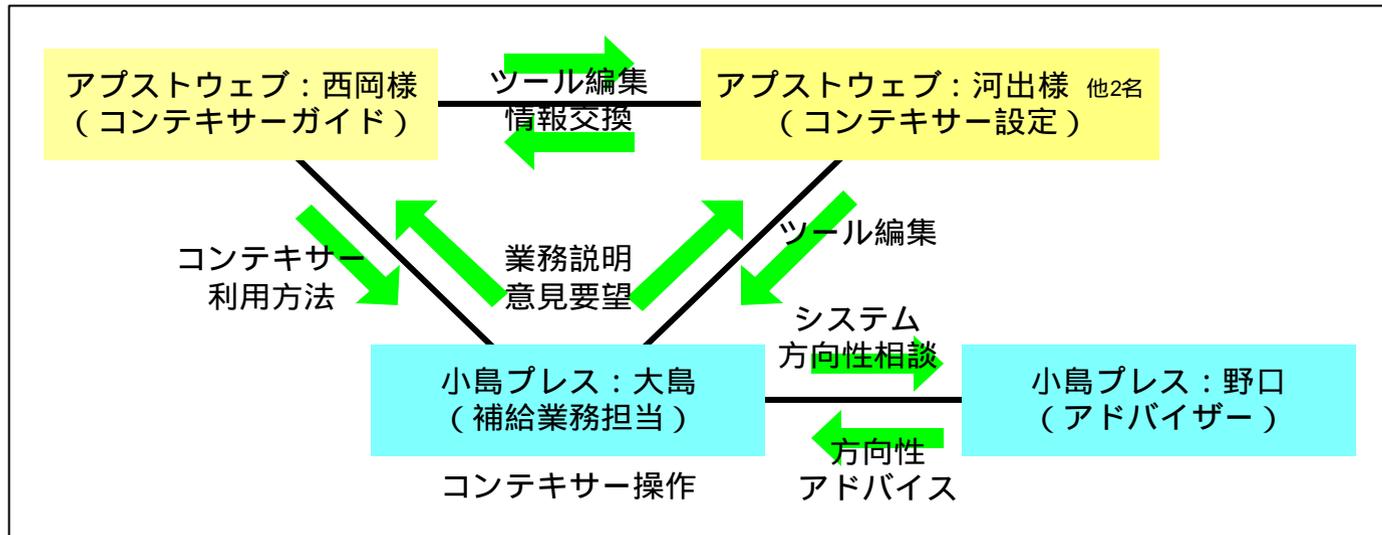


< メリット >

- ・ 動くツールを見ながら議論
- ・ その場で編集 動作確認可能

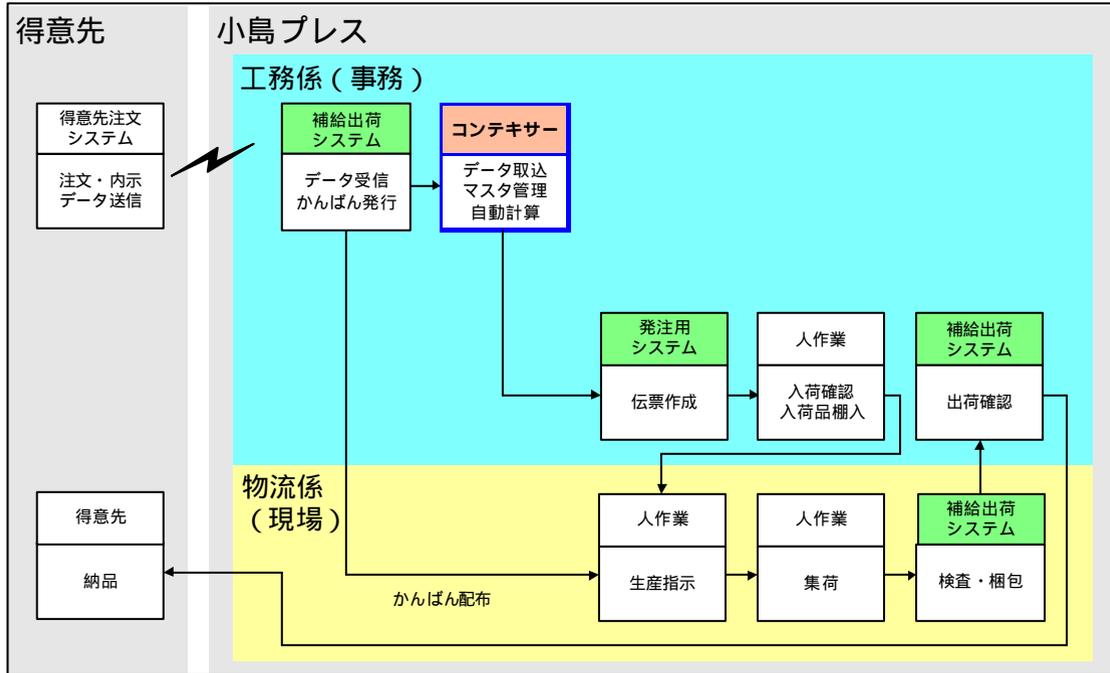
新しい改善のアイデアが生まれる

< メンバー >

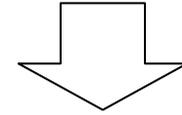


# 効果

## < 業務の流れ >

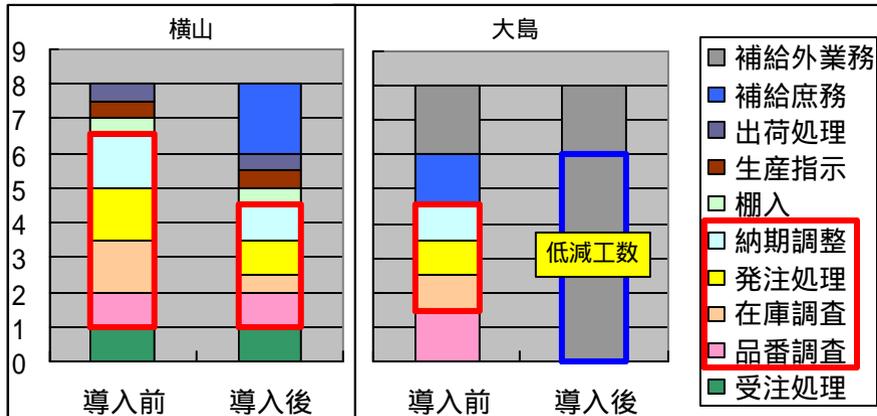


内示・受注データを取込み、補給のシステムに連携。

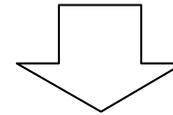


手作業による調査や入力などの事務処理をやめることができた。

## < 工数低減 >



補給業務 1 名省人



大島は別業務に異動。他業務の改善実施へ



# 効果

## < 担当者の業務以外の効果 >

### 生産課の負担低減

・発注点かんばん運用を廃止

管理工数 約20時間 / 月 低減

かんばん枚数 約1,500枚 廃棄 新規の品番分の作成も不要

### 仕入先の負担低減

・補給内示展開可能

次月分を一括で発注できるようになり  
仕入先での計画的な生産が可能に

・日々の発注低減

負担を強いる短納期での納入依頼低減  
一週間で生産～納品を依頼など

### 在庫スペース低減

・不要構成品、適正在庫数量を把握

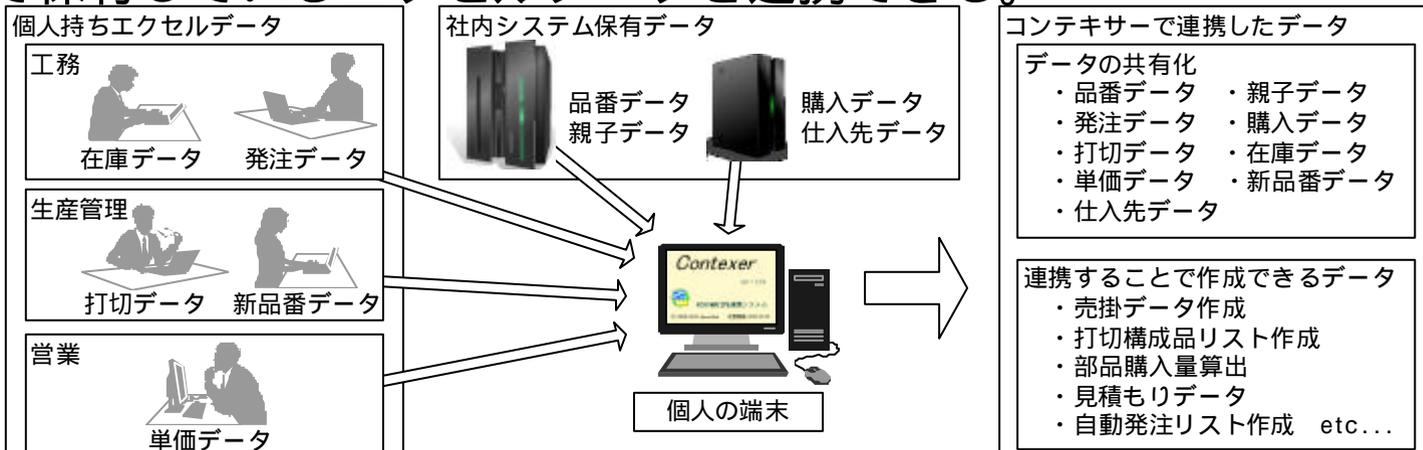
補給棚在庫処分、整理 約80m<sup>2</sup>のスペース確保

### 補給業務の平準化

・処理の自動化と見える化により誰でも補給業務を対応可能に  
業務ローテーションや負荷分散が容易

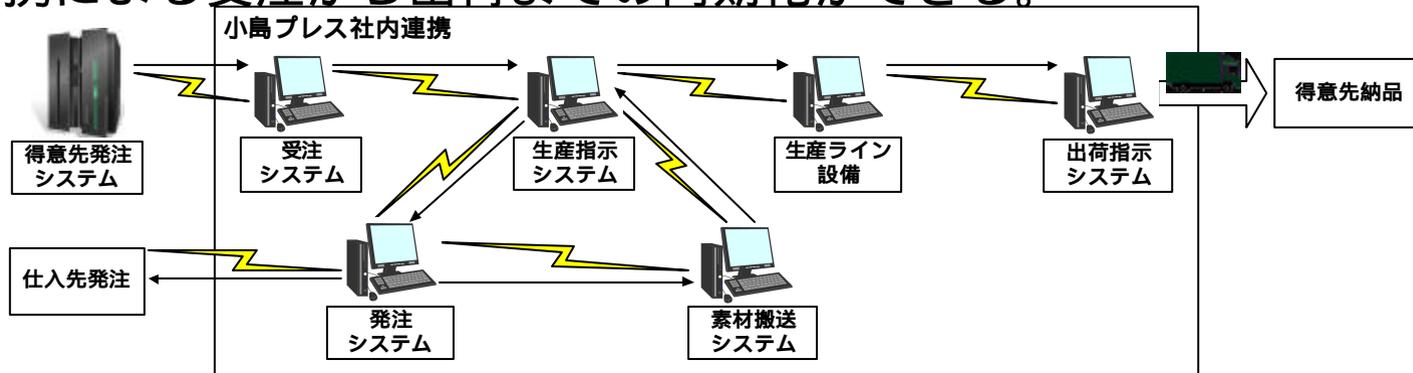
## < 見えてきた今後の課題 >

個々人で保有しているエクセルデータを連携できる。



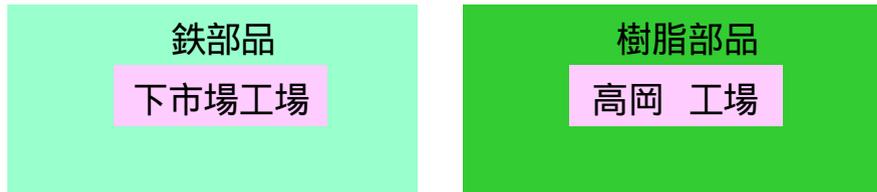
個人業務のノウハウの共有化、人作業や紙レスの職場へ！

データ連携による受注から出荷までの同期化ができる。

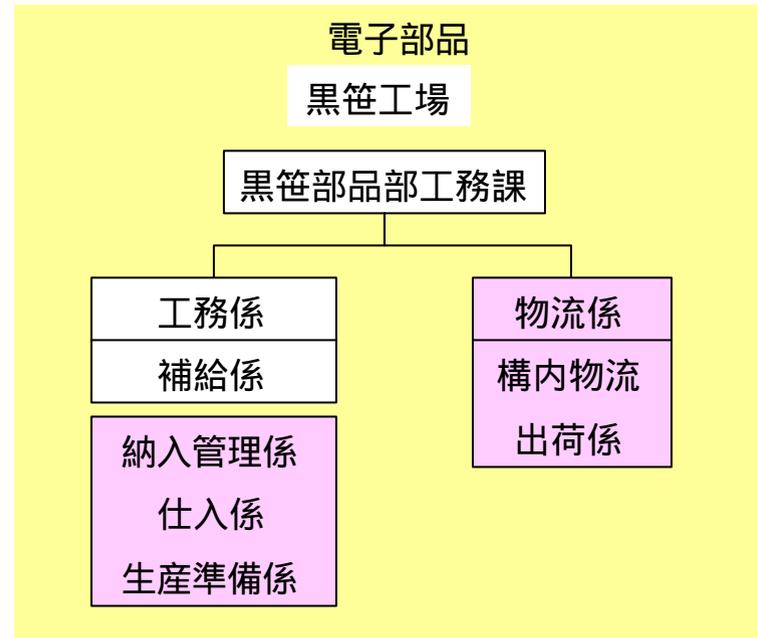


かんばんレス、人の運搬レスの製造現場へ改革！

## 小島プレス全工場



展開予定先



= 全社に向けた研修会 =  
データ連携により業務の効率化が図れる  
部署への展開と活用に向け、改善テーマ  
を持ち寄り実施。

## 人の手ほどムダな作業はない

人が行っていた調査、計算、転記などの作業はITに任せ、人は結果の確認、またはリアクションすることだけに変更できた。

## 事務仕事ほど見える化すべきである

ITによる見える化で、何を、どこで、いつ、どんな対応をすべきか、誰でもわかる情報共有ができるようになった。

事務仕事の“個人で抱える業務が多く、他の人は内容がわからない”という問題を解消。

## 業務を同期化する

ITを用いることで異なる作業工程でも情報が共有できるようになり、結果を次の作業工程へ連携しアウトプットが可能になった。

ITを活用すれば、ものづくりの仕組みと  
関わる人の仕事が変わる！